

建設局

一般会計要求総額	49,480百万円
(対前年度予算 ▲ 8.0%)	
下水道事業特別会計要求総額	55,741百万円
(対前年度予算 ▲ 3.0%)	
単年度資金剰余	▲1,095百万円

<要求に当たっての基本的考え方>

現在の厳しい財政状況に対応するため、選択と集中による効率的な事業の推進を図るとともに、「人にやさしく、元気なまち」の実現に向け必要な都市基盤の整備・保全を実施します。



— 勝山公園 —

☆ 産業の振興や企業誘致を促進する物流ネットワークの形成

◆主要幹線道路の整備	14,505百万円
------------	-----------

☆ 高質な都市空間とまちの賑わいづくり

◆勝山公園の整備の推進	191百万円
◆中心市街地の道路整備の推進	6,682百万円
◆小倉都心の賑わいづくり	34百万円
◆日本風景街道 北九州おもてなしの “ゆっくりかいどう”	6百万円

☆ 安全安心なまちづくりの推進

◆浸水対策事業の推進	4,958百万円
◆災害時における緊急輸送道路の確保	570百万円
◆◎下水道の地震対策の推進	880百万円
◆バリアフリーのまちづくりの推進	1,683百万円
◆市民との協働によるあんしん道事業	100百万円
◆生活道路等緊急整備事業	1,000百万円
◆ハートフル公園計画の推進	30百万円
◆子育てに配慮した公園整備	10百万円
◆明るく安全なまちづくりの推進	29百万円

☆ 環境首都の推進

◆環境学習の推進	11百万円
◆花と緑のまちづくり	161百万円
◆合流式下水道の改善	5,451百万円



— 道路サポーター事業 —

☆ 公共施設の効率的な維持管理の推進

◆橋梁の長寿命化への計画的な取り組み	49百万円
◆道路サポーター事業	15百万円
◆公園愛護会・河川愛護団体補助事業	7百万円

～ ハートフル公園計画の推進 ～

まちづくり協議会を中心に、計画段階から地域の声を幅広く聞き、地域のニーズを踏まえた機能を持たせることで、これまで以上に公園が利用されるように「ハートフル公園計画」を推進します。

<主な見直し項目>

- ◆公園・街路除草の見直し
- ◆河川や水路の補修の見直し
- ◆合流式ポンプ場の遠隔集中監視化による委託費の削減

◎：新規事業